

地域と防災



学年 日日生愛来
 学三 成二 梓結春
 中 作月 陽陽
 十 勢勢本
 大 伊伊坂

地域へ発信!

学んだ防災



富山を守るのは私達



平成26年8月台風11号によって被災
国道439号伊才原



私達の住む富山地
 域では、平成二十六
 年八月の台風十一号
 により、四万十市街
 への主要道路に亀裂
 が入り遮断され、人
 々が生活に支障を
 きたした。私達は、
 この苦しい過去の出
 来事から、三十年以
 内に来ると言われて
 いる南海トラフ地震
 に向けて地域が考え
 成し立てた。

私達は、なげればならないと
 思っています。私達の住
 んでいる地域は津波
 は来なくても土砂災
 害の危険があります。
 そのための対策も今
 後考えなければい
 けません。

これから防災につ
 いて学び、地域で防
 災についての意識を
 高めていくために私
 達は、この新聞を作
 成しました。

舞子高校へ研修



(集合写真)

私達は、修学旅行
 が全国唯一の環境防
 災料がある舞子高校
 を訪問しました。そ
 こで高校生も講師先

生達と一緒に、防
 災を広めるアイデー
 アーに力をつけてほ
 しいです。その中で、
 ラジを作った防災の
 呼びかけをすること、
 保育園で防災の話を
 することなどが私達
 にもできることだと
 考えました。

自分達に できること



舞子高校生が活動
 していたように、私
 達も今後予定されて
 いる保育実習や地域
 交流会で、防災の知
 識を広げていきたい
 と考えています。

また、災害に強い
 地域をつくらせてい
 くために、地域の人達
 にアンケートを取り、
 災害についての意識
 や取り組みを調べ、
 富山地域の現状を知
 る必要があると思
 います。

そして、昨年度か
 ら総合的な学習の時
 間に地域情報誌「大
 なる」を作成して

災害時に助けられ
 る人から助ける人へな
 ると思います。

いので、いので
 防災情報を掲載する
 こと、読者の防災
 への関心を高めるこ
 ともできるとしてい
 ます。

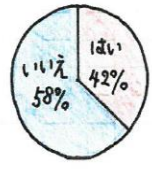
これからは、地域の
 ことも考えた取り組
 みですが、様々な事
 を考えることで、自
 分の地域の一員と
 しての自覚が高まり、



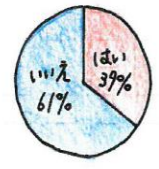
(今年度の大用中学校の生徒)

小中学生の防災意識調査 約50人にアンケート!

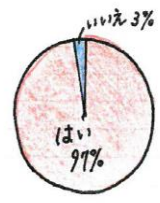
Q 災害時のために備蓄をしていますか。 知っていますか。



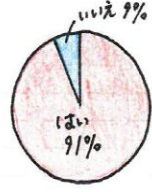
Q 家の家具の固定もしていますか。



Q 防災についての関心はありますか。



Q 南海トラフ地震を知っていますか。



Q 災害時に心配なことはありますか。



へ心配なこと
・食べ物
・土砂くずれ
・家族と会えるか
・建物の倒壊
・災害時の対応
・家の家具を固定していない。など

このアンケートを取ることでたくさんの方が分かってきました。まず、地域に住む多くの人が防災に関心があるということが分かります。しかし、おもっていたより備蓄や家具の固定をしていない人は少ないと感じました。このアンケートからこの地域での課題が分かりました。

防災
まめ知識

転倒防止グッズで
“補強”
〈L字型金具〉

定で字向を
固いし下がす。
のれものげで
具ぎ大具付メ
家は果金取ス
に効型キス

<https://www.nhk.or.jp/sonae/column/20121019.html>

新聞スリッパを作成

私達は、七月五日に大用地区との交流会を行いました。その中で災害時に使える新聞スリッパを地域の方々と一緒に作成しました。



(新聞スリッパを教えている様子)

大用保育所で防災ゲーム

十月十八日に家庭科の保育実習で大用保育所に行きました。そこで、防災意識を高めようと、幼児と一緒に「集合ゲーム」といって、避難時に集まる訓練を遊びの中で行いました。予想していたより、幼児はすぐに集まることができていました。



(集合ゲームの様子)

大用なう第二号 配布します

私達は、年々々々が減少していく地域を活性化するために、去年から「大用なう」という地域情報誌を作成しています。今年も第二号を作成し、四万十市周辺に十一月頃配布予定です。今回は、私達の校区の中でも住みやすい

区についての情報を掲載しています。六ページには、昭和南海地震を体験した地域の人達に話を聞き、近々来るであろう南海トラフ巨大地震への対策を考え、記事にしました。

できるだけでなく、人に読んでほしい、減災につながることを願っています。

大用中HPにアップします